

□地域 I Cカードプロジェクト会議 平成 21 年度の取り組み内容について

1. 地域 I Cカードの事業化に向けた調査の実施

(1) 複数の事業パターンにおける実現性の検討

- 〈パターン 1〉 「商店街・商業施設＋公共交通機関（鉄道、バス、タクシー）」
商店街や商業施設の店舗と、公共交通機関において、同じ I Cカードが利用できる仕組みを導入し、生活者や来街者の利便性を高める。
- 〈パターン 2〉 「鉄道＋その他公共交通機関（バス、タクシー等）」
現在鉄道で利用されている I Cカードを、バスやタクシーでも利用できる仕組みを導入し、来街者が中心市街地に訪れる上でのアクセスや生活者の移動の利便性を高める。
- 〈パターン 3〉 「生活利便施設（駐車場、ロッカー、自動販売機等）」
パターン 2 に加えて、中心市街地にある駐車場や駅ロッカー、自動販売機への導入を行うことで、生活者や来街者の利便性を高める。

(2) 関係者への意識調査

上記パターンに関係する組織等への意識調査（アンケートやヒアリング）を実施する。

〈アンケート対象候補〉

商店街、アーカス、京阪バス、近江バス、江若バス、各タクシー会社等

2. 地域 I Cカード導入先進地域への視察

平成 20 年度における勉強会を踏まえ、地域 I Cカードの事業化手法や補助金活用などについて、先進地における実績を研究するとともに、どのような施設・設備への導入を行っているか、また活用促進の方法や現在の課題等について把握するために視察を実施する。

〈候補地〉

- ・高松市琴平電鉄（IruCa・イルカ）
- ・松山市伊予鉄道（I C い〜カード）

必要経費：20 万円（視察旅費・研究調査資料作成他）